

明星高校1年～3年の生徒諸君、体育祭で君たちの若いエネルギーがほとばしるのを楽しくワクワクしながら見学させてもらいました。クラス一丸となってバトンをつないだクラス対抗リレー、チームワークとスキルがカギとなった八の字、高1・高2のハリケーン、高3のドッジボール、そして、3年生全員が心をつにして演技してくれた集団演技「世界に一つだけの花」、わずか三つあるいは四つの競技種目しかできなくても、それぞれの競技に、若い君たちの素晴らしいエネルギーを感じることができました。

新型コロナウイルス感染症対策として非常事態宣言の中、どのようにすれば体育祭を開催できるか、多くの先生方や運営委員・実行委員の人たちが知恵とアイデアを出し合ってくれました。そして、無観客・規模縮小ながら体育祭を開催でき、それぞれの学年が体育祭に情熱を傾け、精一杯努力をしてくれたことに深い感動を覚えます。

体育祭における生徒諸君は光輝いていました。本当に光る人間はどんな環境や状況でも光ると言われます。今日の明星の生徒諸君は本当に光っていました。3年生は卒業までの残された月日にエネルギーを精いっぱい出して、さらに光り輝き、自分の進む未来への道を歩んでくれることを期待します。1・2年生は「健康・真面目・努力」を日々実践し、前向きに成長してくれて輝きを増すことを願います。

体育祭は運営委員・実行委員の生徒諸君の努力のおかげです。皆さんのおかげで体育祭をやることができました。心から感謝します。生徒の皆さんも全員で運営委員・実行委員に感謝しましょう。ありがとう。

校長として、生徒たちの生き生きとした姿を見ることは嬉しいことであり、感動でもあります。体育祭で生徒諸君一人ひとりが何らかの感動を味わってくれたと思います。感動という言葉をだじゃれで英語にするとCanとDo。Can Doの意味はやる事が出来る。やる事が出来たものに対して人は感動する。生徒諸君、君達の可能性は無限です。体育祭で味わった感動を君達の未来に役立つものになるように活かして下さい。

保護者の皆さま、生徒達の晴れ姿をお見せできなかったのは本当に忸怩たる思いです。お子様からの話、学年からの写真・動画等で少しでも垣間見ていただけますと幸いです。素晴らしく感動溢れる体育祭であったことを報告させていただくことで、ご理解・ご協力いただきましたことへの感謝の気持ちとさせていただきます。